

海外安全対策情報平成31年第1四半期（1～3月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、2017年の犯罪発生状況を日本と比較すると、ブルガリアで強盗被害に遭う割合は日本の約1.5倍にも上ります。

外国人観光客を特に狙った凶悪犯罪の発生は認められませんが、首都ソフィア中心部におけるスリや置き引きは依然多発しており、特に注意が必要です。外出時には常に防犯意識を高く持ち、携行品から目を離さないように十分注意して下さい。

（2）暖かくなり、雪の溶けた道路ではいたるところに大小の穴が空いたままの状態になっています。高速道路や、主要幹線道路では優先的に整備はされているものの、一般道では整備が追いついていません。パンクや故障の原因となるので車両の運転時には前方の路面に十分注意して運転しましょう。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上